



2021年10月28日

各位

会社名 株式会社 鶴 弥
代表者名 代表取締役社長 鶴見 哲
(コード番号 5386 東証第2部・名証第2部)
問合せ責任者 取締役管理本部長 三井 真司
(TEL. 0569-29-7311)

業績予想値と決算値の差異及び業績予想の修正並びに 剰余金の配当及び配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、2021年4月30日に公表しました、2022年3月期第2四半期(累計)(2021年4月1日～2021年9月30日)個別業績予想値と決算値に差異が生じたため、下記のとおりお知らせいたしますとともに、2022年3月期通期(2021年4月1日～2022年3月31日)個別業績予想につきましても、下記のとおり修正いたします。

また、当社は、2021年10月28日開催の取締役会において、2021年9月30日を基準とする剰余金の配当(中間配当)を行うことを決議し、加えて、2021年4月30日に公表しました2022年3月期末配当予想を下記のとおり修正いたします。

なお、業績予想につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

記

1. 2022年3月期第2四半期累計期間の個別業績予想値との差異

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
前回発表予想(A)	百万円 4,100	百万円 130	百万円 145	百万円 100	円 銭 13.06
今回実績(B)	3,753	68	103	67	8.86
増減額(B-A)	△346	△61	△41	△32	
増減率(%)	△8.4	△47.6	△28.9	△32.1	
(ご参考) 前期第2四半期実績 (2021年3月期第2四半期)	3,612	152	161	109	14.33

差異の理由

<第2四半期累計期間>

売上高につきましては、前年を上回ったものの、市場を大きく左右する持家着工戸数が当初想定を下回ったことに加え、夏季の天候不順の影響により前回発表予想を下回りました。

売上高が前回発表予想を下回る中、国際的な原油価格の高騰によりエネルギーコストが上昇し、営業利益・経常利益・四半期純利益につきましても前回発表予想を下回りました。

2. 2022年3月期通期の個別業績予想の修正

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり四半 期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	8,000	260	280	190	24.82
今回修正予想 (B)	7,350	140	160	110	14.37
増減額 (B-A)	△650	△120	△120	△80	
増減率 (%)	△8.1	△46.2	△42.9	△42.1	
(ご参考) 前期実績 (2021年3月期)	7,290	361	431	293	38.29

修正の理由

<通期>

売上高につきましては、前年を上回る見込みであるものの、第2四半期累計期間の実績及び今後の市場環境の影響を踏まえ、前回発表予想を下回る見込みであります。

営業利益・経常利益・当期純利益につきましても、コスト削減等の自助努力に一層注力するものの、国際的な原油価格の動向を踏まえ、前回発表予想を下回る見込みであります。よって、上記のとおり修正します。

3. 剰余金の配当（中間配当）の内容

	決定額	直近の配当予想 (2021年4月30日公表)	前期実績 (2021年3月期)
基準日	2021年9月30日	同左	2020年9月30日
1株あたり配当金	5円00銭	7円50銭	4円00銭
配当金総額	38百万円	—	30百万円
効力発生日	2021年12月7日	—	2020年12月8日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

4. 配当予想の修正

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
前回予想 (2021年4月30日発表)	円 銭 —	円 銭 7.50	円 銭 —	円 銭 7.50	円 銭 15.00
今回修正予想	—	—	—	5.00	10.00
当期実績	—	5.00	—	—	
前期実績 2021年3月期	—	4.00	—	7.00	11.00

修正の理由

当社は、開示している配当政策のとおり、将来に向けた安定的な収益基盤づくりのための内部留保を考慮しつつ、安定的かつ高水準の利益配分を継続的に行うことを基本方針としております。

上記配当方針のもと、前項の業績予想の修正等を総合的に勘案した結果、上記のとおり2022年3月期第2四半期末配当を決定し、期末配当予想につきましても上記のとおり修正いたします。

以 上